

# 東京農業大学と共同で「スリランカ伝統植物研究所」を開設

～植物研究でスリランカの産業を支援～

>>>2014.5.23

株式会社アルビオン(東京・中央区、代表取締役社長・小林章一)は、スリランカの有用性植物の実用化を目指し、2014年4月1日に東京農業大学と共同で「スリランカ伝統植物研究所」を開設。2014年秋ごろより本格的な研究をスタートいたします。

## ■開設の経緯

同研究所は、産学連携の取り組みの一環として包括連携協定を結んでいる東京農業大学 生物産業学部(北海道・網走市オホーツクキャンパス、黒瀧秀久学部長)と共同で設立しました。アルビオンの研究所では4ヶ所目となり、研究部門では初の海外拠点となります。島国でもあるスリランカは固有の植物の宝庫であり、その数は約4,000種とも言われています。アーユルヴェーダなど薬草を生かした伝統医療が盛んであることなどから、スリランカでの植物研究に着目しました。

## ■研究の内容・目的

スリランカ政府やコロombo大学などの協力のもと、まだ実用化されていない植物の分析および解析、新しい有効成分の開拓などを行い新たな化粧品の開発を目指します。また、研究所での分析データはスリランカにフィードバックし、さらに日本の研究ノウハウや技術をお伝えして今後の産業に役立てていただくなど、スリランカの産業を支援する研究活動を行っていきます。研究員は東京農業大学の研究室から派遣し、アルビオンからは研究部門のメンバーが出張して業務を行います。

## ■研究所概要

名称 スリランカ伝統植物研究所  
所在地 Thoppuwa Junction Chilaw Road Waikkala, Srilanka  
(コロombo市内より約45km)  
建物 平屋建て(レンガ、コンクリート)  
延床面積 約261㎡



研究所外観



実験室



研究風景

## ■資料

### 【アルビオンと東京農業大学との取り組み】

2011年 ヨモギの成分や機能性に関する共同研究開始

2013年4月 生物産業学部と包括連携協定締結

スリランカでの研究推進で小林社長スリランカを訪問

11月 生物産業学部食品香粧学科に寄附講座開設「企業と学ぶ化粧学」

2014年4月 スリランカ伝統植物研究所開設

小林章一社長 東京農業大学客員教授に就任

9月 生物産業学部食品香粧学科に寄附講座「企業と学ぶ化粧学」開設予定

※ その他、研究員派遣等の人材交流など

### 【スリランカ 基本情報】

国名 スリランカ民主社会主義共和国

(Democratic Socialist Republic of Sri Lanka)

人口 約2,028万人 (2012年3月)

首都 スリ・ジャヤワルダナプラ・コッテ



南アジアのインド亜大陸（インド半島）の南東に、ポーク海峡を隔てて位置する共和制国家。「光り輝く島」という意味の名前を持つ国。旧国名をセイロンと言い、世界でも有数の紅茶生産国。自然の豊かさから「インド洋の真珠」とも呼ばれている。また近年では隠れたりゾート地として世界でも注目され、観光地としての注目度が急速に高まっている。

### 【アルビオンの研究体制】

- ・白金研究室（東京都港区／2007年開設）  
化粧品の美容効果の効果検証、美容機器の研究開発。
- ・白神研究所（秋田県藤里町／2010年開設）  
世界遺産「白神山地」のふもとに約9500㎡の畑を所有し、化粧品原料となる植物の委託栽培、植物に特化した原料の開発・基礎研究。
- ・東日本橋研究所（東京都中央区／2013年開設）  
マーケティング調査や店頭の要望などからの商品企画アイディアを、実際に商品化するための処方の開発。
- ・スリランカ伝統植物研究所（スリランカ／2014年開設）